

平成20年 第3回 対馬市議会 定例会

平成20年第3回対馬市議会定例会が9月16日から29日までの会期で開催されました。

平成20年度対馬市一般会計補正予算(第3号)など55議案が原案のとおり可決され、陳情3件、諮問1件が採択されました。

可決された主な内容

平成20年度対馬市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算総額に2億1200万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算

総額を283億2930万円としました。

補正内容の主なものは、福岡事務所開設準備経費、地域の道路事情に迅速に対応するための道路維持費、法改正による住民税システム改修業務委託料などによる増加です。

対馬市ふるさと応援寄付条例の制定
対馬に愛着を持つ人々に寄付金を募り、寄付者の対馬への想いを具体化していくことで「国境の島 対馬」の特性や地域資源を生かしたまちづくりを推進していくものです。

長崎県離島医療圏組合の解散と長崎県病院企業団の設立

県と対馬、五島などの関係の市町が一体となつて病院経営を行うため、現在の長崎県離島医療圏組合を解散し、市民の健康な生活を確保することを目的とした、長崎県病院企業団を新たに設立するものです。

対馬市CATVの指定管理者の指定
対馬市CATVの指定管理者に(株)コミュニケーションメディア(長崎市)を指定。期間は平成20年11月1日から平成30年3月31日まで

市長行政報告

かたらんね市長室

市民の皆様の生の声、郷土を想う熱い気持ちや発想を直接お聞きし、市の施策に反映することを目的に、本年度より「かたらんね市長室」を開催しております。

上対馬、上県地域など計4回開催し、対馬の振興・活性化を切に願う市民の皆様のお気持ちに触れることができ、その熱意に大変感銘を受けております。今後も毎月1回のペースで開催し、ひとりでも多くの皆さんの提案、想いをお聞きしたいと考えております。

燃料油価格高騰に伴うジェットフォイルの減便等

九州郵船(株)主催により、8月18日に上対馬町、上県町を対象に住民説明会、8月21日に地元関係団体との意見交換会が開催されました。対馬北部の振興やお年寄りなどの交通弱者に対する、容易で快適な交通手段の確保のためには、比田勝航路を是非存続させてほしいとの市民からの声が多く、市としても九州郵船(株)に対し、「バンカーサーチャージ(燃料油価格変動調整金)」については、社会・経済情勢が

ら導入についての市民の理解は得られるだろうが、比田勝航路の廃止については、断固認める訳にはいかない」という姿勢で、検討期間の不足を理由に実施時期を10月から11月に延伸させ協議を進めて参りました。また、航路の存続のためには、財政支援も必要との判断から、9月8日に九州郵船(株)と協議しましたが、市の考えと九州郵船(株)の考えに相当の開きがあり、妥協点を見出すことができないという非常に残念な結果となりました。

今後、市民皆様には大変なご不便をお掛けすることになり、4月以降のジェットフォイル便の就航について九州郵船(株)と協議を進めて参りたいと存じます。

株式会社対馬物産開発

平成20年6月27日「長崎地方裁判所 厳原支部」に対し破産手続開始申立を行い、7月1日をもちまして破産手続が開始されました。

今後の予定は、10月1日午後1時30分より、財産状況報告集会が行われ、その結果並びに今後の動向等を十分に考慮いたしまして、出資金等の権利の放棄や、時期等も含めた、事務等が生ずるものと考えております。

